

Y18a 宇宙・天文分野の特性を踏まえた対論型サイエンスカフェの試行

玉澤春史（京都市立芸術大学）、一方井祐子（東京大学）

天文分野を含んだ宇宙に関する科学技術政策への賛否について、宇宙分野に潜在的ファンが多いといわれる一方、直接的な政策の論点に上りにくく、一般市民がどのように思っているかが分かりにくい。2014年にインターネットで行われた宇宙政策に関する社会調査、また2017年にはインタビュー調査が行われ、積極的に情報を入手し考察するといったレベルでの「輿論」およびその前段階の関心を持っているといったレベルの「世論」を判断するには難しい現状がうかがえた。情報から熟議に発展させる仕掛けを模索するため2019年より複数の話題提供者を立て参加者に議論をより活発にすることを狙った「対論型サイエンスカフェ」の試行を行ってきた。議論の活性化につながるような題材の設定に工夫が必要であり、個々のイベントでの参加者の役割を分析することにより、単発のイベントではその後の議論発展はわかりにくい、世論形成のキーになりうる潜在的オピニオンリーダー候補がどのような人物かを考える題材になりうる。本発表では実施状況と分析の途中経過、および今後の予定を報告する。